

岡山県立岡山操山高校

S G H 集大成からその先へ ～Sacred Heart Collegeとの交流～

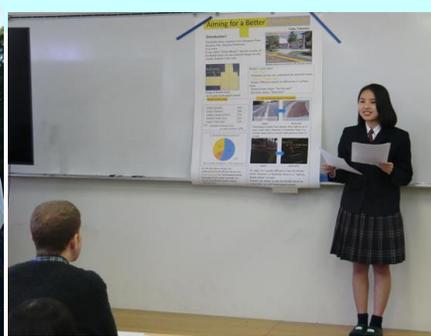
取組等の概要



Sacred Heart Collegeとの
調印式



後楽園を案内



海外研修前プレゼン練習

県立岡山操山高校では、「和して流れず」「松柏の精神」で、次代を担う高い志を持ち、岡山と日本の未来を切り拓く、将来のグローバルリーダーの育成を目指しています。

平成27年には、文部科学省からスーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定され、創立120周年を迎える今年度が、集大成の年となります。SGHの研究開発単位の一つとしてSOZAN国際塾(現在約40名入塾)があり、「持続可能な開発目標(SDGs)」における17の目標に基づいて、課題研究を行っています。それぞれのテーマを設定し研究していくためには、海外でのフィールドワークや現地高校生、大学生等との交流を通じて、国際的教養を身につけるとともに、より幅広い視野を持って異文化を理解する姿勢が必要となります。

そこで数年前から交流している南オーストラリア州アデレード市にあるSacred Heart College(SHC)と、今年5月に正式に姉妹校縁組を結びました。

昨年9月にはSHCの生徒が来校し、一緒に授業を受けたり、後楽園を案内したりしました。また今年3月に、本校生徒12名がSHCを訪問した際には、事前に本校の外国人の先生とプレゼンの練習を積み重ね、現地で課題研究について英語で発表しました。これからも志を高く持ち、互いに密な関係を築く中で、真のグローバル人材として活躍するために研鑽を積んでいきます。